

《【事前学習①②】から順番に進めて、別紙の「わが家のマイ・タイムラインシート」を作成しましょう。》

■ 事前学習① 「マイ・タイムラインについて知りましょう」

学習資料 1ページ 「事前学習① マイ・タイムラインについて知りましょう」

■ 事前学習② 「洪水災害について ～令和4年台風15号を経験して～」

学習資料 2～3ページ 「事前学習② 洪水災害について ～令和4年台風15号を経験して～」

↓ ここから先は、マイ・タイムラインシートに記入しながら進めてください。

(1) わが家の浸水リスクを確認しましょう (内水・外水)

① 「過去の浸水履歴」を確認しましょう。 《内水リスク》

- ☞ 自宅が浸水したことがある場合は、「浸水深」を記入しましょう。
- ☞ 「車やバイク等が浸水したことがある」場合は、チェックを入れましょう。

学習資料 4ページ (1) ① 「過去の浸水履歴の確認」 参照

② 「土砂災害・洪水(外水)ハザードマップ」(別添)で、自宅の位置に○を付け、自宅が「河岸浸食や氾濫流の区域」や「想定浸水区域」に含まれているか確認しましょう。 《外水リスク》

- ☞ 自宅が「河岸浸食や氾濫流の区域」に含まれている場合は、「家屋倒壊等氾濫想定区域」の欄にチェックを入れましょう。
- ☞ 自宅が「浸水想定区域」に含まれている場合は、「該当する浸水深」の欄にチェックを入れましょう。



学習資料 4～5ページ (1) ② 「土砂災害・洪水(外水)ハザードマップの意味と見方」参照

③ わが家の浸水リスクについて「①・②」の中から最大の深さを確認しましょう。

⇒これが **わが家の浸水リスク** です。

- ☞ 「該当する浸水深」の欄にチェックを入れましょう。



(2) わが家の浸水リスクを参考に避難方法を確認しましょう

浸水リスクを参考に、最適な避難方法(垂直避難・水平避難)を決めましょう。

ポイント

- ・ **垂直避難** … 屋内避難(自宅内の安全な場所に避難)
- ・ **水平避難** … 屋外避難(自宅を離れて避難)

垂直? 水平?

- 自宅が「家屋倒壊等氾濫想定区域」の場合は「水平避難」の必要があります。

☞ 自宅が「家屋倒壊等氾濫想定区域」の場合は「水平避難」の欄にチェックを入れましょう。

- 自宅が「家屋倒壊等氾濫想定区域」ではなく、自宅の床高が浸水深より高い場合は、「垂直避難」が可能です。

☞ 自宅の構造(平屋、2階建、3階建)と浸水深から、**最適な避難方法**を決めて、該当欄にチェックを入れましょう。

※自宅が土砂災害警戒区域に含まれている場合は、上記によらず「水平避難」の必要があります。

- 上記2点を踏まえ、「わが家の避難方法」と「車やバイクの避難の必要性」を確認します。

☞ 自宅の浸水リスクを確認したうえで、「該当するわが家の避難方法」にチェック。
また、「車やバイクの避難の必要性がある人」は併せて該当欄にチェックを入れましょう。

※「該当なし」にチェックした方も想定外の事態に備えてシート(3)以降を進めましょう。

学習資料 6ページ (2) 「避難の方法」参照

(3) 避難するタイミングを確認しましょう

ご自身やご家族は、どのようなタイミングで避難するのか決めておきましょう。

- ポイント**

 - ・ 高齢者や避難に時間がかかる方は遅くとも「警戒レベル3(高齢者等避難)」で避難
 - ・ その他の方は遅くとも「警戒レベル4(避難指示)」で避難

☞ 避難するタイミングをご家族で話し合い、該当欄にチェックを入れましょう。

学習資料 7～10ページ (3) 「避難のタイミング」参照

※次ページ(裏面)へ

安全な道で避難しよう!



(4) 避難する場所を確認しましょう

① 避難情報が発令される前の避難先を考えましょう。

☞ 避難先をチェックし、具体的な名称を記入しましょう。☑「例：〇〇さん宅」

② 避難情報が発令された時の避難先を考えましょう。

☞ 避難先をチェックし、具体的な名称を記入しましょう。☑「例：藤枝地区交流センター」

ポイント
・最寄りの「指定緊急避難場所」は、ハザードマップ（別添）で確認できます。
・「指定緊急避難場所」は、基本的に避難情報が発令されたタイミングで開設します。

※避難情報が発令された時の指定緊急避難場所の開設順序には、「第1段階開設」と「第2段階開設」があります。

学習資料 11～12 ページ (4)「避難する場所」参照

(5) 必要な防災情報などを入手しましょう



「気象情報」や「河川の水位情報」など、自分に必要な防災情報は、日頃から収集できるようにしておきましょう。

① 「スマホ」や「タブレット」など情報端末をお持ちの方。

☞ 防災アプリ「**藤枝市防災**」をインストールすれば、リンクから様々な防災情報が入手できます。インストールが完了したらチェックを入れましょう。☑

※ぜひ活用をお願いします。

活用方法が
たくさん



② 情報端末をお持ちでない方。

☞ 地上デジタル放送（テレビ）の「**データ放送**」を受信すれば、気象情報など、一部の情報が取得できます。確認したらチェックを入れましょう。☑

※ぜひ活用をお願いします。

☞ メール配信サービス「**キックオフメール**」に登録すれば、気象情報など一部の情報を、市が発信するメールによって取得できます。登録したらチェックを入れましょう。☑

※携帯電話（スマホでない）をお持ちの方はぜひ活用をお願いします。

学習資料 13～14 ページ (5) (6)「必要な情報の入手方法」参照

(6) 市からの避難情報を確実に入手しましょう



市が発令する避難情報は様々な手段で入手できます。ご自身やご家族は、どのような手段で避難情報が入手できるか確認しておきましょう。

① 「スマホ」や「タブレット」など情報端末をお持ちの方。

☞ 防災アプリ「**藤枝市防災**」、メール配信サービス「**キックオフメール**」、「**市公式 LINE**」から情報を取得できます。インストールが完了したらチェックを入れましょう。☑

※聞き逃すことが無いように、重複して登録をお願いします。

② 情報端末をお持ちでない方。

☞ 地上デジタル放送（テレビ）の「**データ放送**」を受信すれば、発令している避難情報を取得できます。確認したらチェックを入れましょう。☑

※ぜひ活用をお願いします。

☞ メール配信サービス「**キックオフメール**」に登録すれば、避難情報をメールで取得できます。登録したらチェックを入れましょう。☑

※携帯電話（スマホでない）をお持ちの方はぜひ活用をお願いします。

学習資料 13～14 ページ (5) (6)「必要な情報の入手方法」参照

(7) 避難する際の持ち出し品を日頃から用意しておきましょう

飲料水や常備薬、お薬手帳など、「ご自身やご家族に必要なもの」を確認し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

ポイント
・避難の期間は災害の状況により異なりますが、最低でも3日分程度は用意しておきましょう。

家族の中でも
必要なものが
違うよね！



学習資料 15 ページ (7)「避難する際の持ち出し品」参照

■ 問合せ先

藤枝市 基盤整備局 河川課（水害対策室）

【TEL】 054-643-3516

【FAX】 054-643-3360

【メール】 kasen@city.fujieda.shizuoka.jp